

第1部 様々な運動

第1章 物体の運動

→ p.10~28

問1 位置  $(x, y)$  は位置ベクトル  $\vec{r}$  の終点の座標から

$$\vec{r} = (4 \text{ m}, 3 \text{ m})$$

また位置ベクトルの大きさは、三平方の定理から、

$$r = \sqrt{(4 \text{ m})^2 + (3 \text{ m})^2} = 5 \text{ m}$$

〔答〕  $(4 \text{ m}, 3 \text{ m})$ ,  $r = 5 \text{ m}$

問2 移動距離は、白球が実際に移動した距離(経路に沿った距離)だから、

$$\text{移動距離} = P_1O + OP_2$$

三平方の定理を用いて、

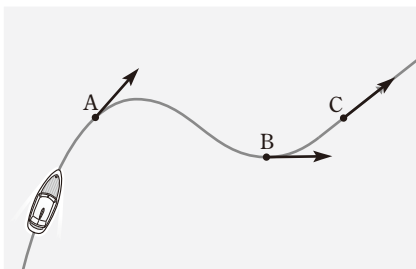
$$\begin{aligned} &= \sqrt{(0.30 \text{ m})^2 + (0.40 \text{ m})^2} + \sqrt{(0.30 \text{ m})^2 + (0.40 \text{ m})^2} \\ &= 1.00 \text{ m} \end{aligned}$$

一方、変位は、初めの位置  $P_1$  から終わりの位置  $P_2$  に向かって引いた矢印で表されるから、その大きさは

$$\text{変位の大きさ} = P_1P_2 = 0.30 \text{ m} + 0.30 \text{ m} = 0.60 \text{ m}$$

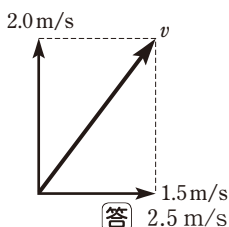
〔答〕 移動距離：1.00 m, 変位の大きさ：0.60 m

問3 〔答〕



問4 川岸に対する船の速さを  $v$  [m/s] とする。静水に対する船の速さと、川の流れの速さを合成して、

$$\begin{aligned} v &= \sqrt{(1.5 \text{ m/s})^2 + (2.0 \text{ m/s})^2} \\ &= 2.5 \text{ m/s} \end{aligned}$$



問5 (1) 飛行機の速さを  $V$  [m/s], 速度の水平成分を  $v_x$  [m/s], 鉛直成分を  $v_y$  [m/s] とすると、式(5)より

$$v_x = V \cos 30^\circ = 30 \text{ m/s} \times \frac{\sqrt{3}}{2} = 25.9 \dots \text{ m/s}$$

$$\approx 26 \text{ m/s}$$

$$v_y = V \sin 30^\circ = 30 \text{ m/s} \times \frac{1}{2} = 15 \text{ m/s}$$

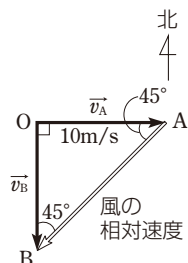
〔答〕 水平成分：26 m/s, 鉛直成分：15 m/s

(2) 鉛直方向の変位は

$$v_y \times 6.0 \text{ s} = 15 \text{ m/s} \times 6.0 \text{ s} = 90 \text{ m} \quad \text{〔答〕 } 90 \text{ m}$$

類題1 自転車の速度を  $\vec{v}_A$  [m/s], 風の速度を  $\vec{v}_B$  [m/s] とする。自転車に対する風の相対速度は  $\vec{v}_B - \vec{v}_A$  [m/s] なので、図の  $\overline{AB}$  である。題意より、 $\triangle OAB$  は直角二等辺三角形だから、

$$|\vec{v}_B| = 10 \text{ m/s} \quad \text{〔答〕 } 10 \text{ m/s}$$



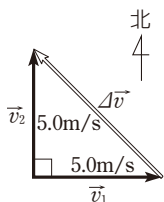
問6 東向きを  $\vec{v}_1$ , 北向きの速度を  $\vec{v}_2$  とすると、図のように直角二等辺三角形であるから、この間の速度の変化  $\Delta \vec{v}$  は北西の向きで、その大きさは、

$$|\Delta \vec{v}| = 5.0 \times \sqrt{2} \text{ m/s}$$

平均の加速度  $\vec{a}$  は、単位時間あたりの速度の変化より、

$$\vec{a} = \frac{\Delta \vec{v}}{\Delta t} = \frac{5.0 \times \sqrt{2} \text{ m/s}}{10 \text{ s}} = 0.707 \dots \text{ m/s}^2 \approx 0.71 \text{ m/s}^2$$

〔答〕 北西の向きに  $0.71 \text{ m/s}^2$



類題2 着地する直前の、速度の鉛直成分の大きさを  $v_y$  [m/s] とすると、式(23)より

$$v_y = 9.8 \text{ m/s}^2 \times 2.0 \text{ s} = 19.6 \text{ m/s}$$

である。よって、着地する直前の小石の速さを  $v$  [m/s] とすると、式(26)より

$$v = \sqrt{14.7^2 + 19.6^2} = 24.5 \approx 25 \text{ m/s} \quad \text{〔答〕 } 25 \text{ m/s}$$

問7 (1) 投げ出してから 0.50 s 後の物体の速度の水平成分を  $v_x$  [m/s], 鉛直成分を  $v_y$  [m/s] とすると、式(28), (30)より

$$v_x = 19.6 \text{ m/s} \times \cos 60^\circ = 9.8 \text{ m/s}$$

$$\begin{aligned} v_y &= 19.6 \text{ m/s} \times \sin 60^\circ - 9.8 \text{ m/s}^2 \times 0.50 \text{ s} \\ &= 12.0 \dots \text{ m/s} \approx 12 \text{ m/s} \end{aligned}$$

〔答〕  $x$  成分：9.8 m/s,  $y$  成分：12 m/s

(2) 投げ出してから 2.0 s 後の物体の位置  $(x, y)$  は、式(29), (31)より

$$x = 19.6 \text{ m/s} \times \cos 60^\circ \times 2.0 \text{ s} = 19.6 \text{ m} \approx 20 \text{ m}$$

$$y = 19.6 \text{ m/s} \times \sin 60^\circ \times 2.0 \text{ s} - \frac{1}{2} \times 9.8 \text{ m/s}^2 \times (2.0 \text{ s})^2$$

$$= 14.3 \dots \text{ m} \approx 14 \text{ m} \quad \text{〔答〕 } (20 \text{ m}, 14 \text{ m})$$

類題3 (1) 点Oを原点とし、水平右向きにx軸、鉛直上向きにy軸をとる。投げ出してから最高点に達するまでの時間を $t_1$ [s]とすると、式(30)で $v_y=0$ であるから、

$$0 = 19.6 \text{ m/s} \times \sin 30^\circ - 9.8 \text{ m/s}^2 \times t_1$$

よって、 $t_1 = 1.0 \text{ s}$  [答] 1.0 s 後

(2) 投げ出してから小石が39.2 m下の地面に着地するまでの時間を $t_2$ [s]とすると、式(31)で

$$y = -39.2 \text{ m}$$

$$-39.2 \text{ m} = 19.6 \text{ m/s} \times \sin 30^\circ \times t_2 - \frac{1}{2} \times 9.8 \text{ m/s}^2 \times t_2^2$$

$$t_2^2 - 2t_2 - 8 = 0$$

$$(t_2 - 4)(t_2 + 2) = 0$$

$t_2 > 0 \text{ s}$  より、 $t_2 = 4.0 \text{ s}$  [答] 4.0 s 後

(3) 式(29)より

$$L = 19.6 \text{ m/s} \times \cos 30^\circ \times 4.0 \text{ s} = 67.8 \cdots \text{ m} \doteq 68 \text{ m}$$

着地する直前の速さを $v$ [m/s]とすると、

$$v = \sqrt{(19.6 \text{ m/s} \times \cos 30^\circ)^2 + (19.6 \text{ m/s} \times \sin 30^\circ - 9.8 \text{ m/s}^2 \times 4.0 \text{ s})^2}$$

$$= 2 \times 9.8 \times \sqrt{3} \text{ m/s} = 33.9 \cdots \text{ m/s} \doteq 34 \text{ m/s}$$

[答] 68 m, 34 m/s

問8 速さ $v_f$ [m/s]で落下するとすると、抵抗力の大きさ $kv_f$ [N]は、鉛直下向きを正の向きとして雨滴にはたらく力のつり合いより、

$$5.0 \times 10^{-10} \text{ kg} \times 9.8 \text{ m/s}^2 - kv_f = 0$$

よって、 $kv_f = 4.9 \times 10^{-9} \text{ N}$

$v_f = 0.28 \text{ m/s}$  より、 $k$ [N·s/m]は、

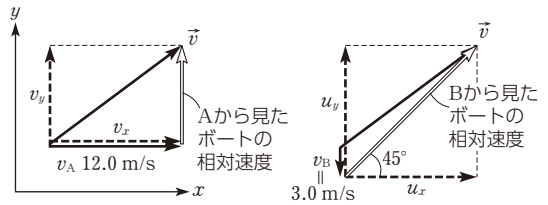
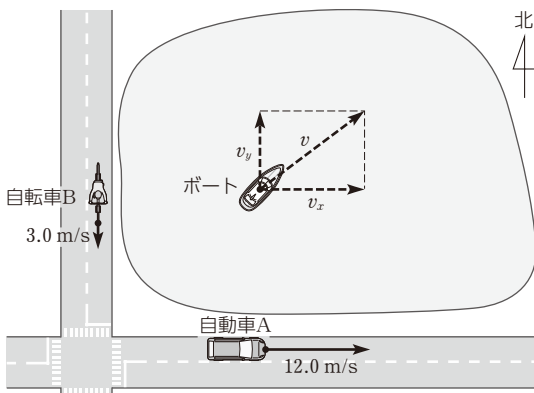
$$k = \frac{4.9 \times 10^{-9} \text{ N}}{0.28 \text{ m/s}} = 1.75 \times 10^{-8} \text{ N} \cdot \text{s/m}$$

$$\doteq 1.8 \times 10^{-8} \text{ N} \cdot \text{s/m}$$

[答]  $4.9 \times 10^{-9} \text{ N}$ ,  $1.8 \times 10^{-8} \text{ N} \cdot \text{s/m}$

p.28 章末問題

1 東向きにx軸、北向きにy軸をとる。ボートの速さのx成分(東西)を $v_x$ [m/s]、y成分(南北)を $v_y$ [m/s]とする。



(1) 自動車Aから見たボートの相対速度の東西成分が0なので、

$$v_x - 12.0 \text{ m/s} = 0$$

よって、 $v_x = 12.0 \text{ m/s}$  [答] 12.0 m/s

(2) 自転車Bから見たボートの相対速度のx成分、y成分をそれぞれ $u_x$ [m/s]、 $u_y$ [m/s]とすると、

$$u_x = v_x - 0 \text{ m/s} = 12.0 \text{ m/s}$$

$$u_y = v_y - (-3.0 \text{ m/s}) = v_y + 3.0 \text{ m/s}$$

自転車Bから見た相対速度が北東の方向(東から北へ $45^\circ$ )であるので、

$$u_x = u_y$$

$$12.0 \text{ m/s} = v_y + 3.0 \text{ m/s}$$

よって、 $v_y = 9.0 \text{ m/s}$  [答] 9.0 m/s

(3) ボートの速さ $v$ [m/s]は、

$$v = \sqrt{v_x^2 + v_y^2} = \sqrt{12.0^2 \text{ m/s}^2 + 9.0^2 \text{ m/s}^2} = 15.0 \text{ m/s}$$

$$\text{また、} \tan \theta = \frac{v_y}{v_x} = \frac{9.0 \text{ m/s}}{12.0 \text{ m/s}} = 0.75$$

[答] 速さ: 15.0 m/s,  $\tan \theta : 0.75$

2 (1) 最高点に達するまでの時間を $t_0$ とすると、

$$0 = v_0 \sin \theta - gt_0 \quad \text{よって、} t_0 = \frac{v_0 \sin \theta}{g}$$

[答]  $\frac{v_0 \sin \theta}{g}$

(2) 式(31)と式(1)より、

$$H = v_0 \sin \theta \cdot t_0 - \frac{1}{2} g t_0^2 = \frac{(v_0 \sin \theta)^2}{g} - \frac{1}{2} g \left( \frac{v_0 \sin \theta}{g} \right)^2$$

$$= \frac{v_0^2 \sin^2 \theta}{2g} \quad \text{[答]} \quad \frac{v_0^2 \sin^2 \theta}{2g}$$

(3) 式(29)と式(1)より、

$$L = v_0 \cos \theta \times t_0 = v_0 \cos \theta \times \frac{v_0 \sin \theta}{g} = \frac{v_0^2 \sin \theta \cos \theta}{g}$$

三角関数の公式を用いて整理すると、

$$L = \frac{v_0^2 \sin 2\theta}{2g}$$

[答]  $\frac{v_0^2 \sin \theta \cos \theta}{g}$  (または、 $\frac{v_0^2 \sin 2\theta}{2g}$ )

(4) (2), (3)より,

$$\frac{H}{L} = \frac{\frac{v_0^2 \sin^2 \theta}{2g}}{\frac{v_0^2 \sin \theta \cos \theta}{g}} = \frac{\sin \theta}{2 \cos \theta} = \frac{1}{2} \tan \theta$$

よって,  $\tan \theta = \frac{2H}{L}$  (答)  $\frac{2H}{L}$

(5)  $v_0 > 0$  なので(2)より,  $v_0 = \frac{\sqrt{2gH}}{\sin \theta}$

(4)より,  $\tan^2 \theta = \frac{\sin^2 \theta}{\cos^2 \theta} = \frac{\sin^2 \theta}{1 - \sin^2 \theta} = \frac{4H^2}{L^2}$

$$\frac{1}{\sin \theta} = \sqrt{\frac{4H^2 + L^2}{4H^2}}$$

よって,  $v_0 = \sqrt{2gH} \sqrt{\frac{4H^2 + L^2}{4H^2}} = \sqrt{\frac{g(4H^2 + L^2)}{2H}}$

(答)  $\sqrt{\frac{g(4H^2 + L^2)}{2H}}$

p.28 思考力を鍛える

1 (1) 小球Aを投げ出してから衝突するまでの時間を  $t_0$  として,

$$L = v_0 t_0 \quad \text{よって, } t_0 = \frac{L}{v_0}$$

点Pの高さ  $h$  は,

$$h = H - \frac{1}{2} g t_0^2 = H - \frac{1}{2} g \times \left(\frac{L}{v_0}\right)^2 = H - \frac{gL^2}{2v_0^2}$$

(答)  $H - \frac{gL^2}{2v_0^2}$

(2)  $h > 0$  であればよいので,

$$h = H - \frac{gL^2}{2v_0^2} > 0 \quad \text{よって, } v_0 > L \sqrt{\frac{g}{2H}}$$

(答)  $v_0 > L \sqrt{\frac{g}{2H}}$

(3) 水平右向きに  $x$  軸, 鉛直下向きに  $y$  軸をとる。投げ出してからの時間を  $t$ , 速度の  $x$  成分,  $y$  成分を小球Aについて  $v_{Ax}$ ,  $v_{Ay}$ , 小球Bについて  $v_{Bx}$ ,  $v_{By}$  とする。

Aは水平投射, Bは自由落下の式より,

$$v_{Ax} = v_0, \quad v_{Ay} = gt$$

$$v_{Bx} = 0, \quad v_{By} = gt$$

Bから見たAの相対速度の  $x$  成分,  $y$  成分をそれぞれ  $u_x$ ,  $u_y$  とすると,

$$u_x = v_{Ax} - v_{Bx} = v_0 - 0 = v_0$$

$$u_y = v_{Ay} - v_{By} = gt - gt = 0$$

相対速度の大きさは  $v_0$  である。また, 相対速度の鉛直成分が  $0$  なので向きは水平で, Bへ向かう向きである。

(答) (例) Bへ向かって速さ  $v_0$  で水平方向に等速直線運動をしている。